三国川ダムでは梅雨期や台風シーズンである6月から9月までを洪水期間と定 め、ダム湖に貯めていた水を放流することでダムの水位を下げ、洪水調節容量 を確保します。また、それ以外の10月から5月にかけてはダム湖に水をためて 発電などに利用します。そのため、洪水以外では、例年、雪解けの4月からGW 頃にかけてダム水位が高くなり、ダムからの(※)自然越流を見ることが出来ます。 来年のGWは是非、自然越流を見に来てください。

(※) 自然越流とはダムの非洪水期常用洪水吐ゲートから自然に水が流れている状態のことをいいます。

## 季節ごとのダム湖の水位~



自然越流の様子(R3.4月撮影)



6月のダム湖の様子

## ~総合学習の場として~

三国川ダム管理所では、感染症対策を講じた上で、南魚沼市内の小学生を中心に総合学習の場として利用していただいております。

現在、一般の方が入ることのできない、<mark>監査廊</mark>にも入り、ダムの役割や魅力を 学習していいただいております。







非常用洪水吐付近



利水放流路



常用洪水吐ゲート室



※コロナウイルス感染拡大防止・洪水発生・その他の状況により案内をおことわりする場合があります。 見学内容やその他確認事項等は、事前に、三国川ダム管理所までにお問合せ下さい

## ~情報館のリニューアル~

三国川ダムは来年でダム建設から30年の節目を迎えます。その節目の取り組みの1つとして昨年度から情報館のリニューアルを行ってきました。今回のリニューアルでは主にパネルの更新とダム模型の作製を行いました。このダム模型はダム建設当時と同様の材料・施工方法で、当時ダムの施工に携わっていた方と地元の桑原建設㈱に製作していただきました。



ダム模型施工着手前



施工風景1



施工風景2



ダム模型完成(縮尺1/300)



新規作成パネル